

コード	301030401
記入日	H23.5.30

課コード	133
課名	新魚目診療所
課長名	原 重光
担当者	田中 陽介

事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	仲知へき地診療所管理運営事務費
----------	-----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 一 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	1
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード	1
基本事業コード	30103	基本事業名称	地域医療体制の充実	目コード	1
事務事業コード	3010304	事務事業名称	診療所特別会計事業費	細目コード	
関連計画	医療体制再編計画	法令・条例規則等	新上五島町へき地診療所条例		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象しているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1)	診療所地域住民	(対象指標1)	診療所圏内住民 約241人				
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水費・委託料等の一般管理費：381千円 研究研修費：21千円 薬の購入代等の医薬費：2,565千円 	①	年間診療可能日数	49日	98%	実診療日数+診療予定日数	平成22年度
		(達成率分析)	ほぼ当初の計画通りに実施することができたが、医師の出張により休診した日が1日あった。				
		②					
		(達成率分析)					
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
	町民が健康で安心して生活ができるような診療体制を維持する。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		①	外来受診率	11.61%	122.73%	実績(11.61%)÷計画(H21実績9.46%)	平成22年度
		(達成率分析)	新魚目診療所にて診察していた患者を仲知診療所にて診察するようになったため、受診率が増加している。				
		②					
		(達成率分析)					

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 日	300	300	250	50	49					
	②										
成果指標	① %	9.00	10.07	8.53	9.46	11.61					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	30,460	31,919	23,968	6,492	7,951					
直接事業費 A	千円	17,160	18,619	13,468	3,692	5,151					
人件費 B	千円	13,300	13,300	10,500	2,800	2,800					
内訳	従事職員数	人	1.9	1.9	1.5	0.4	0.4				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円	7,928	8,048	6,222	1,706	1,826				
	起債	千円									
	その他	千円	7,542	7,399	5,851	1,691	1,548				
一般財源	千円	14,990	16,472	11,895	3,095	4,577					

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	地域の医療を充実させ、医療に対する不安を解消するために必要である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	前年と比較して受診件数が増加しており、事業を廃止することはできない。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	地域住民の健康の維持・増進を目的としており、適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	地域医療の確保という面で成果をもたらしている。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	診療日数及び診療時間の拡大により、若干の成果向上は見込まれる。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	高齢化が進む本町において、地域住民の健康に対する不安の増大や利便性の低下による経済的・精神的負担の増加などが懸念される。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	他に類似事業はない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	事業費の大きな割合を占める医薬材料費をはじめ、ほとんどの物品購入や委託契約等において、複数業者からの見積り徴取などを行うことで可能な限り経費の削減を行っており、これ以上の削減は見込めない。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	現在の人員を減らすことは管理運営を行う上で不可能である。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	医療保険制度に則っており、受益者負担は適正である。

改善

改善策	1次評価	妥当性	地域住民の健康の維持・増進のためには今後も事業を継続していく必要がある。
		有効性	診療日数及び診療時間の拡大により、受診率等の若干の向上は見込まれるが、医師の確保や経費の面からそれなりの効果が得られるかどうかを検討する必要がある。
		効率性	現在の施設を管理運営していくためには、これ以上の経費の削減はできない。
		課題に向けた改善策	現在の運営形態を維持していく。
	2次評価	妥当性	住民の医療サービスの確保のためにも妥当である。
		有効性	住民の医療サービスの確保のためにも医療体制・施設の維持管理に努めること。
		効率性	今後も効率的な診療所運営に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。